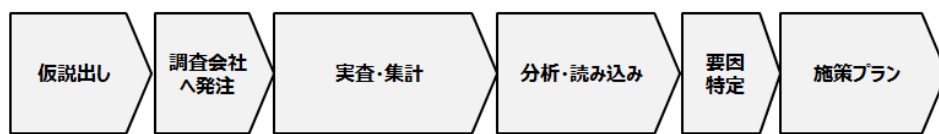


マーケターの時間創出、生産性向上のためにチェック業務をスマートに
～ 消費財メーカー向けアプリケーション「iTree®」を提供開始 ～

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石塚 純晃、以下インテージ)は、マーケティング業務におけるデータ活用と意思決定を支援する、消費財メーカー向けアプリケーション「iTree®」を2019年4月1日より正式に提供開始いたします。

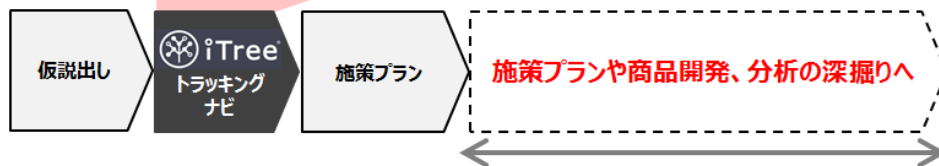
[ブランド監査～施策プランの工程]

Before



大幅に短縮

After



創出した時間は
施策プランや商品開発、分析の深掘りに使える。
業務の生産性が向上する。

現在、マーケティング業務の在り方は大きな転換期を迎えています。労働力人口の減少や働き方改革、ロボットによる仕事の自動化といった労働環境の変化に加え、消費行動のさまざまな側面がデータとして活用できるようになったことで、データ分析のスキルを持つ人材の不足が叫ばれるようになりました。

豊富なマーケティングデータを構築・保有し、顧客企業のマーケティングPDCAに伴走してきたインテージは、こういった課題への対応としてiTreeを開発、2018年9月にベータ版の検証開始を発表しました。以降、お客様企業へのテスト導入を含めた検証を重ねた上で、このたびの正式な提供開始にいたしました。

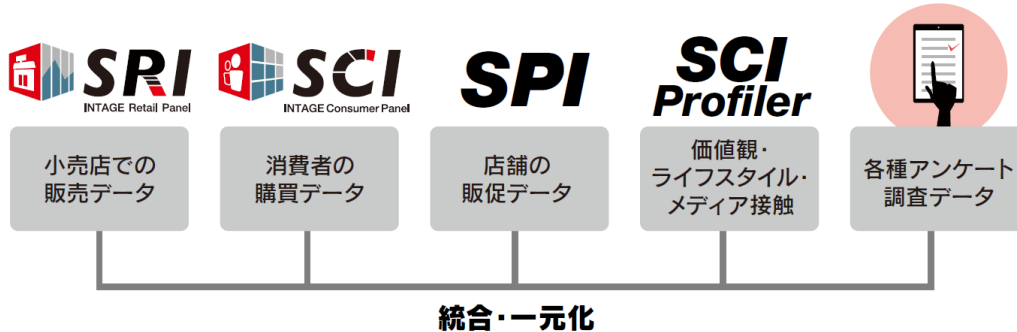
iTreeを用いることで従来、データ分析に時間や人手を割くことが難しかった企業でも、施策の見直しや投資継続の判断といった意思決定をデータに基づいて行うことが可能になります。

■ iTreeとは



iTreeは、マーケティングの意思決定や課題解決をガイドする「ナビ」として、ダッシュボード上で各種の指標を確認することが可能となるツールです。iTreeには、マーケティング課題の検証ポイントや、検証のために必要なデータがあらかじめ設定・搭載されています。インテージが提供しているSRI®(全国小売店パネル調

査)・SCI®(全国消費者パネル調査)・SPI(全国店頭プロモーション調査)などのパネル調査や、SCIの調査モニターに聴取した価値観・ライフスタイル・メディア接触のデータ(SCI Profiler)といった複数データを用い、配荷や売り上げ、店頭プロモーション、ユーザーのプロファイリングなどさまざまな検証ポイントを自動で分析し、ダッシュボード上に表示します。また、別途実施したウェブアンケート調査のデータを取り込むこともできるので、使用満足度や購入意向といった意識面での指標も合わせて確認することが可能です。



2019年4月1日から、目標と実績とのギャップチェックやボトルネックの要因特定をサポートする「ブランド監査」に特化した「トラッキングナビ」の提供を開始します。トラッキングナビでは、iTree上にあらかじめ搭載されたデータから必要な指標が自動で集計されることで、ブランド監査にかかる時間が大幅に圧縮されます。また、データ分析の経験が少ない方でも簡単に操作し、必要な指標を確認することができます。そのため、これまでブランド監査にかけていた時間・人手を、施策の立案・実行をより効果的に行うための課題の深掘りやプランニング、商品開発に使うことが可能となります。

iTreeをテスト導入したお客様から、以下のコメントを頂戴しております。

【雑貨メーカー・ブランドマネージャー】

ブランドのコンディションの大枠をシステムでチェックするというコンセプトがいい。チェックのステップもまさにこの通り。働き方改革で、「何も生まない仕事」の扱いを何とかしたいところだった。データの見方で組み込まれていて、インテージ社の特色を生かしたサービスだと思う。

【食品メーカー・リサーチ担当】

画面がサクサク動かし、わかりやすい。社内の定期報告のためにバラバラのデータをまとめる作業を減らせると思った。ユーザー分析で、食意識や健康といった、自社ブランド購買者の価値観まで見られるのも魅力だ。

【菓子メーカー・営業企画部長】

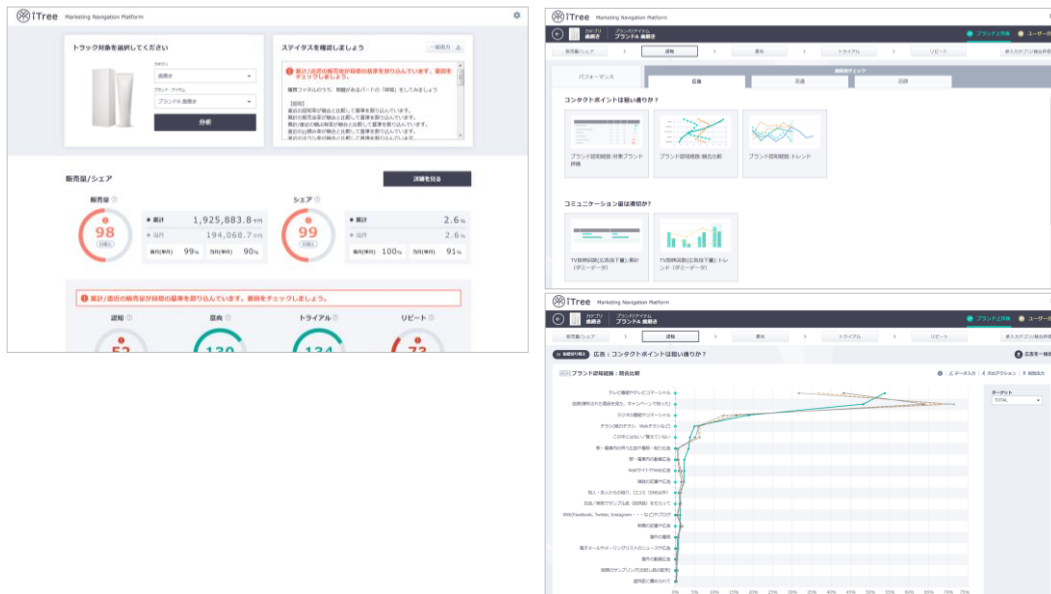
今までエクセルで作成し配信していた紙ベースのレポートをiTreeで置き換えられる。画面も見やすい。費用もリーズナブルであり、これを活用しない理由が見当たりません。

2018年9月にiTree開発を発表して以降、おかげさまで多数の反響をいただき、すでに複数の消費財メー

カーで4月1日からの導入が内定しています。また、導入を検討する企業も増加しています。iTreeは、今後もユーザーの皆さまの活用便益を高めるべく各種の機能を強化し、マーケティング業務における生産性の向上に貢献してまいります。

■ 特長・画面イメージ

- ・散在するデータがダッシュボード上で一元化されます。
- ・データ分析のご経験がない方でも、マニュアルなしで直感的に操作しやすいツールです。
- ・データと分析ステップがプリセットされているので、簡単な操作ですぐに必要な指標を確認できます。



■ iTree ウェブサイト

<https://www.intage.co.jp/service/platform/itree/>

【SRI®(全国小売店パネル調査)とは】

国内小売店パネル No.1(2018年3月現在)のサンプル設計数とチェーンカバレッジを誇る、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター・ディスカウントストア、ドラッグストア、専門店など全国約4,000店舗より継続的に、日々の販売情報を収集している小売店販売データです。

※SRIでは、統計的な処理を行っており、調査モニター店舗を特定できる情報は一切公開しておりません

【SCI®(全国消費者パネル調査)とは】

全国15歳～79歳の男女52,500人の消費者から継続的に収集している日々の買い物データです。食品、飲料、日用雑貨品、化粧品、医薬品、タバコなど、バーコードが付与された商品について、「誰が・いつ・どこで・何を・いくつ・いくらで、購入したのか」という消費者の購買状況を知ることができます。

※SCIでは、統計的な処理を行っており、調査モニター個人を特定できる情報は一切公開しておりません

※現時点では60代までのデータ提供を基本サービスとさせていただいております。ご要望に応じて70代のデータを追加いたします

【SPI(全国店頭プロモーション調査)とは】

全国370店※のスーパーマーケット、ホームセンター・ディスカウントストア、ドラッグストアにて、調査員が毎週末収集している販売促進情報データです。店頭プロモーションの実施状況の把握や効果測定に活用できます。

※SRIと共通の店舗です。統計的な処理を行っており、調査モニター店舗を特定できる情報は一切公開しておりません

【株式会社インテージ】 <https://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石塚 純晃)は、「Create Consumer-centric Values ~ お客様企業のマーケティングに寄り添い、共に生活者の幸せを実現する」を事業ビジョンとして掲げ、さまざまな業界のお客様企業のマーケティングに寄り添うパートナーとして、共に生活者の幸せに貢献することを目指します。生活者の暮らしや想いを理解するための情報基盤をもって、お客様企業が保有するデータをアクティベーション(活用価値を拡張)することで、生活者視点に立ったマーケティングの実現を支援してまいります。

【報道機関からのお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当:星(ほし)/下河原(しもがわら)

TEL:03-5294-6000

サイト「お問い合わせフォーム」 <https://www.intage.co.jp/contact/>

【iTree に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ iTree お問い合わせ窓口

Mail: itree-support@intage.co.jp